



# 静岡労働局だより

2016.2

- 静岡県の外国人雇用届出状況（平成27年10月末現在） …… 1
- 「STOP！転倒災害プロジェクト」の継続実施 …… 2
- 平成27年表彰者一覧 …… 3
- 平成27年12月の県下一斉建設監督の実施結果について …… 3
- 「不本意非正規対策・学卒正社員就職実現キャンペーン」の実施について …… 4
- 静岡県内の有効求人倍率（平成27年12月内容） …… 4



## 静岡県の外国人雇用届出状況（平成27年10月末現在）

職業対策課  
Tel.054-271-9970

### ～外国人労働者数が40,376人(6.3%増)～

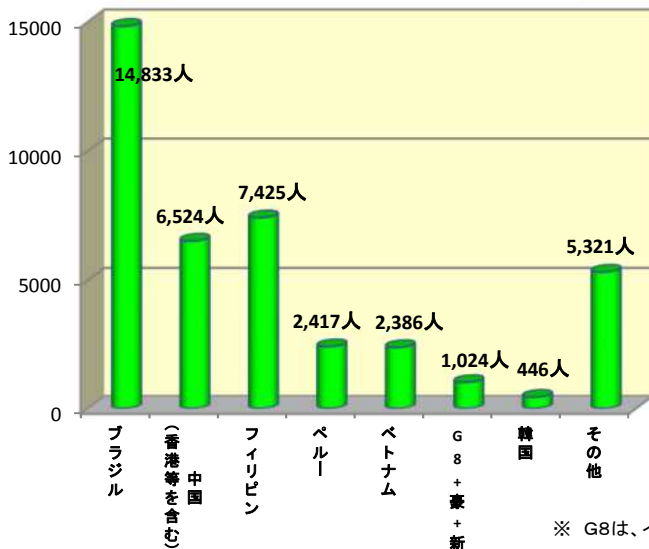
外国人雇用状況の届出制度は、雇用対策法に基づき、外国人労働者の雇用管理の改善や再就職支援などを図ることを目的とし、すべての事業主に、外国人労働者（特別永住者及び在留資格「外交」・「公用」の者を除く。以下同じ。）の雇入れ又は離職の際に、当該外国人労働者の氏名、在留資格、在留期間等について確認し、厚生労働大臣（ハローワーク）へ届け出ることを義務付けています。

#### 【ポイント】

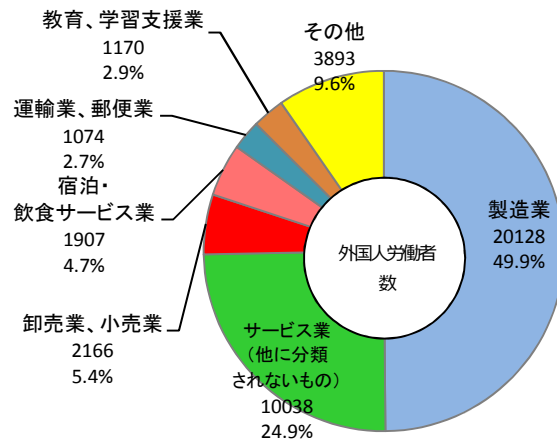
- 外国人労働者を雇用している県内事業所数は5,252事業所。前年同期と比較すると392事業所、8.1%の増加に転じた。また、県内の外国人労働者数は40,376人で、前年同期と比較すると2,384人、6.3%の増加に転じた。  
（事業所数は全国で7番目（上位は、東京・愛知・神奈川・大阪・埼玉・千葉）、外国人労働者数は全国で5番目（上位は、東京・愛知・神奈川・大阪））
- 国籍別外国人労働者数は、ブラジルが最も多く14,833人で、外国人労働者全体の36.7%。次いでフィリピン、中国の順で、それぞれ7,425人（同18.4%）、6,524人（同16.2%）。
- 県内で労働者派遣・請負事業を行っている事業所のうち、外国人を雇用しているのは1,228事業所で、外国人雇用事業所全体の23.4%であった。また、派遣・請負事業所で就労する外国人労働者は19,590人で、県内の外国人労働者全体の48.5%であった。  
（外国人労働者の派遣・請負割合は2番目。（上位は、滋賀）全国平均22.6%）
- 産業別でみると外国人労働者を雇用する事業所数・外国人労働者数は、製造業が最も多く、割合では事業所数は41.3%、労働者数は49.9%。
- 県内地区別における外国人労働者を雇用する事業所数及び外国人労働者数は、西部地域が最も多く、県内全体に占める割合では事業所数は47.5%、労働者数は55.5%となっている。また、中部地域では同24.6%、21.6%、東部地域では、同27.9%、22.9%となっている。

## 静岡県の外国人雇用届出状況

【国籍別 外国人労働者数と割合】



【産業別 外国人労働者数と割合】

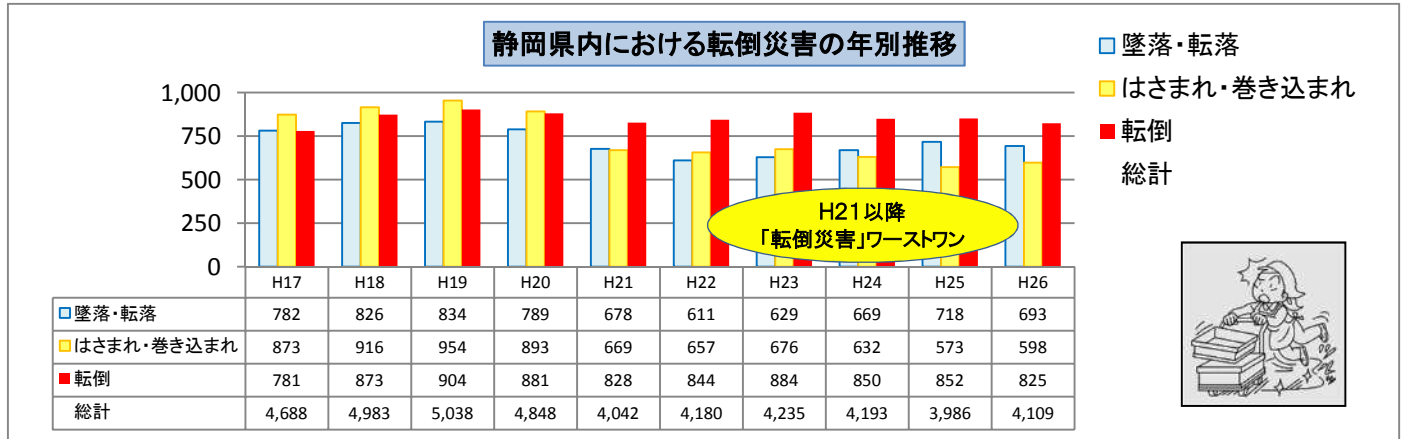


※ G8は、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、カナダ、ロシアを表す。

厚生労働省では、休業4日以上死傷災害のうち最も件数が多い転倒災害の減少を図るため、平成27年1月から「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を開始し、当局においても転倒災害の防止対策に取り組んできたところですが、当該プロジェクトは平成27年12月31日をもって終了しました。

この間全国の転倒災害発生件数は、平成27年12月末の速報値が前年同期比2.5%減少するなど一定の成果が得られているところですが、静岡県内では残念ながら、平成27年12月末の速報値で前年同期比9.9%の増加となりました。

転倒災害は依然として休業4日以上死傷災害のうち最も件数が多いことから、平成29年までに休業4日以上死傷災害を平成24年比で15%以上減少させることを目標とした第12次労働災害防止計画達成のため、静岡労働局では、更なる取り組みとして、「STOP！転倒災害プロジェクト2015」を発展・継続させ、2月（凍結による転倒災害が多発する時期）と6月（安全週間準備月間）を重点取組期間に設定した「STOP！転倒災害プロジェクト」を実施することとしました。



## STOP！転倒プロジェクト実施要綱（抄）

### 1 趣旨 -略-

### 2 主唱者

厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

### 3 実施者 各事業場

### 4 主唱者の実施事項

#### (1) 厚生労働省の実施事項

- ① 転倒災害防止に係る周知啓発資料等の作成、配布
- ② ポータルサイトによる転倒災害防止対策に有効な情報等の周知
- ③ 本プロジェクトを効果的に推進するための各種団体等への協力要請
- ④ 都道府県労働局、労働基準監督署によるチェックリストを活用した事業場への指導

#### (2) 各労働災害防止団体の実施事項

- ① 会員事業場等への周知啓発
- ② 事業場の転倒災害防止対策への指導援助
- ③ 転倒災害防止対策に資するセミナー等の開催、教育支援
- ④ 転倒災害防止対策に資するテキスト、周知啓発資料等の提供
- ⑤ 転倒災害の防止に有益な保護具等の普及促進

### 5 実施者の実施事項

#### (1) 重点取組期間に実施する事項

##### ① 2月の実施事項

- ア 安全管理者や安全衛生推進者が参画する場（安全委員会等）における転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
- イ チェックリストを活用した安全委員会等による職場巡視、職場環境の改善や労働者の意識啓発

#### ② 6月の実施事項

職場巡視等により、転倒災害防止対策の実施（定着）状況の確認

#### (2) 一般的な転倒災害防止対策

- ① 作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消
- ② 4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ、油污等のほか台車等の障害物の除去
- ③ 照度の確保、手すりや滑り止めの設置
- ④ 危険箇所の表示等の危険の「見える化」の推進
- ⑤ 転倒災害防止のための安全な歩き方、作業方法の推進
- ⑥ 作業内容に適した防滑靴やプロテクター等の着用の推進
- ⑦ 定期的な職場点検、巡視の実施
- ⑧ 転倒予防体操の励行

#### (3) 冬季における転倒災害防止対策

- ① 気象情報の活用によるリスク低減の実施
  - ア 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
  - イ 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知
  - ウ 気象状況に応じた出張、作業計画等の見直し
- ② 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底
  - ア 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
  - イ 事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
  - ウ 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知
  - エ 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し

静岡労働局では平成28年1月6日、永年にわたって地方労働行政推進のために多大な貢献いただいた方に対する顕彰式典を開催し、13名の方が表彰されました。

## 平成27年労働基準行政関係功労者表彰（厚生労働大臣表彰）

職名	氏名
静岡労働局地方労災医員	高橋 惇
静岡労働局地方労災医員	高橋 正明

## 平成27年地方労働行政関係功労者（厚生労働大臣感謝状）

職名	氏名
静岡地方労働審議会委員	内山 千穂
静岡地方労働審議会委員	梶村 武志
静岡地方労働審議会委員	坂本 光司

## 平成27年労働基準行政関係功労者表彰（労働基準局長表彰）

職名	氏名
静岡労働局地方労災医員	杉山 晴敏
静岡労働局地方労災医員	山本 俊樹

## 平成27年静岡労働行政関係功労者表彰

職名	氏名
静岡地方最低賃金審議会委員	村田 光生
静岡地方最低賃金審議会委員	望月 清史

## 平成27年静岡労働局長感謝状

職名	氏名
三島・伊豆地域産業保健センターコーディネーター	菊地 義朗
静岡紛争調整委員会委員	久保田 和之
静岡紛争調整委員会委員	原口 富夫
静岡紛争調整委員会委員	宮田 逸江

※敬称略・掲載は50音順

# 県下一斉建設監督の実施結果について

監督課  
TEL054-254-6352

静岡労働局では、年末年始無災害運動期間（平成27年12月1日～平成28年1月15日）中の取り組みとして、死亡災害が多発している建設業に対し、12月に県内7労働基準監督署が建設現場に対して集中的に臨検監督を実施しました。

## 1 監督した結果について

- 295件の建設現場を臨検監督したところ、うち124件の現場で元請事業者が講じるべき下請事業者への指導が行われていない案件、また、墜落・転落災害防止措置が不備である案件など、元請事業者に違反が認められ、使用停止命令等の措置を行いました（違反率42.0%）。
- 上記（1）の各元請事業者が施工する現場に入場する下請事業者211社に対して監督を実施したところ、墜落・転落災害防止措置が講じられていない案件、また、車両系建設機械危険防止措置などに不備が認められる案件など、147社に違反が認められ、使用停止命令等の措置を行いました（違反率69.7%）。
- 今回の一斉監督では、墜落・転落防止措置や車両系建設機械及び移動式クレーンに係る安全措置義務に関する法違反が目立ちました。

## 2 今後の取組等

建設業では、墜落・転落やはさまれ・巻き込まれによる死亡災害が多発しており、建設現場における法違反も認められることから、引き続き重点的に指導していくこととしています。

〈参考〉平成27年の静岡労働局管内の労働災害死亡者数32人のうち、13人が建設業であり、全体の40.6%を占めています。

雇用情勢が着実に改善する中、静岡労働局は、不本意ながら非正規雇用で働く方の正社員転換や未内定学生・生徒及び進路未決定学生・生徒をはじめとする若者等の正社員就職の実現に向けた取組を強力に推進するため、関係機関及び団体等と連携しながら、平成28年3月末までを「不本意非正規対策・学卒正社員就職実現キャンペーン」期間として、キャンペーンを1月から実施しています。



正社員求人を対象とした各種就職面接会の開催

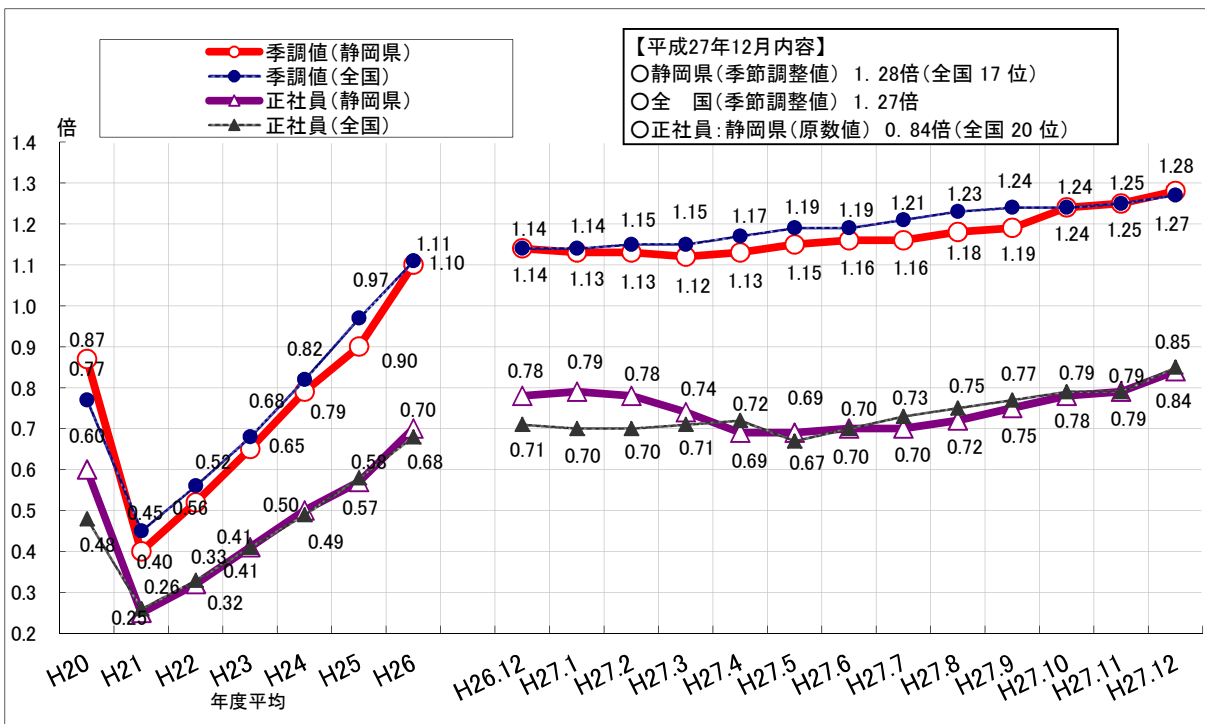
労働局及びハローワークにおいて、若年者・学卒未内定者・非正規労働者等を中心とした正社員求人を対象とした就職面接会を実施します。(2月以降の実施は下記9回)

また、「正社員？フリーター？何が違うの？」のパンフレットを配布し、正社員就職への啓発を行います。

面接会の日程及びパンフレットデータは静岡労働局のホームページからダウンロードできます。  
(<http://shizuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>)

静岡労働局主催 面接会日程		
日程	イベント名称	会場
2月 2日(火) 14:00~16:30	介護・福祉マッチング交流会〈浜松〉	浜松市市民協働センター (浜松市中区中央1-13-3)
2月 4日(木) 14:00~16:30	介護・福祉マッチング交流会〈静岡〉	グランドシップ 会議室1002 (静岡市駿河区池田79-4)
2月15日(月) 12:00~16:00	若者・学生等就職フェア〈東部会場〉	ワグメツぬまづ 多目的ホール (沼津市大手町1-1-4)
2月19日(金) 13:30~15:30	ミニ企業面接会 (医療福祉分野)	静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)
2月23日(火) 12:00~16:00	若者・学生等就職フェア〈東部会場〉	アトティ浜松 展示イベントホール (浜松市中区中央3-12-1)
2月26日(金) 13:00~16:00	正社員就職面接・相談会	プラザゲルデアール (沼津市大手町1-1-4)
2月26日(金) 13:00~16:00	ふじ ふじのみや合同就職面接会	ふじさんめっせ会議室 (富士市柳島189-8)
2月29日(月) 12:00~16:00	若者・学生等就職フェア〈中部会場〉	ツインシティ静岡 南館 (静岡市駿河区曲金3-1-10)
3月18日(金) 13:30~15:30	ミニ企業面接会 (医療福祉分野)	静岡県総合社会福祉会館 (静岡市葵区駿府町1-70)

静岡県内の有効求人倍率(平成27年12月内容)



死亡事故災害発生状況

	H28年発生 (H28年1月把握分)	H27年発生	H27年発生 1~12月
製造業	0	0	9
建設業	1	0	13
運輸業	0	0	4
農林業	0	0	1
その他	0	1	6
合 計	1	1	33

編集・発行

静岡労働局 総務部 企画室

〒420-8639

静岡市葵区追手町9番50号(静岡地方合同庁舎3階)

TEL <054>254-6320

FAX <054>254-6543

<HP> <http://shizuoka-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>